

ボンディング障害を呈する産褥婦の頭部 MR 撮像による 白質繊維走行変化の検証

1. 研究の対象

2016年7月14日～2019年3月31日に岩手医科大学附属病院で出産した女性で、かつ、先行研究『産後うつ病早期発見のための日本版エジンバラ式自己質問表のスコアと高次機能 MR を用いた脳内イメージング』に参加し、頭部 MRI 検査を実施済みの方。

2. 研究期間

研究実施許可後～2026年3月31日まで

3. 研究目的・方法

研究目的：本研究では産後1ヶ月時点でボンディング障害がある方とそうでない方で頭部 MRI 画像の脳内神経ネットワーク（脳の様々な機能を担い、学習、記憶、思考、感情などの高次な機能を生み出す基盤）の構造変化を核磁気共鳴画像法で撮影された画像にて検証し、診断補助ツールとして応用可能かを検討することを目的としています。

産後メンタルヘルスの問題として産後うつ病などに加え、母親と児の関係性の障害が重要視されてきています。親から子どもへ向かう情緒的絆、関心や愛情がボンディングであり、ボンディング障害とは自分の子どもに愛情がわからず、世話をしたい、守りたいという感情が弱く、苛々感や敵意、更には攻撃したくなる衝動が出てくるような心理状態です。

最近の研究では、ボンディング障害は児の発達不全や愛着障害につながるのみならず、新生児虐待の危険要因となることが分かってきています。日本人における新生児虐待は年々増加傾向にあり、その加害者の多くは実母であることから社会としても重要な問題です。

親から子どもへの愛着形成について、地域や医療が早くから関わり支援することでのボンディング改善の効果も認められており、ボンディング障害を早急に発見し、支援を開始する必要があります。しかし、ボンディング障害を早期に発見できるような客観的な評価については現時点で有用なものはありません。

MRI画像を用いた脳内イメージングについてさまざまな撮像方法、解析方法により発症のメカニズム解明に迫るような脳構造や脳機能の変化をとらえる試みがなされています。ボンディング障害は感情変化を伴うため、脳内構造の変化が生じている可能性が考えられますが、これまで検証した報告はありません。

本研究では、先行研究である課題名『産後うつ病早期発見のための日本版エジンバラ式自己質問表のスコアと高次機能MRを用いた脳内イメージング』（試験番号 H28-43）のデータ（核磁気共鳴撮像法のデータ）を用い、ボンディング障害がある症例の脳神経ネットワーク構造変化を検討します。

本研究により、ボンディング障害による脳構造の変化が生じていることが明らかになれば、ボンディング障害の知見蓄積と早期発見、早い時期からの支援開始に寄与できる可能性があると考えています。

方法：神経精神科を受診された際の臨床情報と先行研究での MRI 画像情報を用いて解析調査を行います。この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者さんのデータを使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報を利用したり、学会等で公表したりすることはありません。

4. 研究に用いる情報

<情報>

診療録より情報を収集します。具体的には、産後 1 ヶ月時の年齢、出産前における婚姻の有無、妊娠既往、分娩時妊娠週数、お子様の NICU 入院の有無、併存精神疾患の有無です。

<自記式質問紙>

当科外来の通常の診療の中で治療目的のために産前や産後に全例行っている質問紙です。

- ・エジンバラ産後うつ病質問票
- ・赤ちゃんへの気持ち質問表

本研究で取得した上記の試料・情報は、研究終了日から 5 年または結果公表日から 3 年のいずれか遅い日まで保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の試料・情報は、倫理審査委員会の審査・承認を経て、研究機関の長の実施許可を得た場合に限り、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。その際は、研究に関する情報をウェブサイト (<https://www.iwate-med.ac.jp/>) に公開し、対象者が当該研究の実施について容易に知りうる状態にします。

5. 研究費および利益相反

本研究は、本多笑奈が研究代表者の若手研究（課題番号 22K15791）である文部科学省及び日本学術振興会が交付する科学研究費助成事業により実施されます。研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学医学部神経精神科学講座
本多 笑奈、福本 健太郎
住所：〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1 番 1 号
TEL：019-613-7111（代表）（内線 2011）
FAX：019-907-6892

研究責任者：

岩手医科大学医学部神経精神科学講座 福本 健太郎

-----以上